

## 禁忌症・適応症及び入浴の注意

### 1. 浴用の禁忌症

急性疾患(特に熱がある場合)活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)、飲用には適さない。

### 2. 浴用の適応症

リウマチ性疾患、運動器障害、神経麻痺、神経症、病後回復期、疲労回復

### 3. 入浴の方法及び注意

- (1) 温泉療養を始める場合は、最初の日数の入浴回数を1日当り1回程度とすること。その後は、1日当り2回ないし3回までとする。
- (2) 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- (3) 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯ざわり又は、浴湯反応)が現れることがある。  
「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は、入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- (4) 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
  - ア) 入浴時間は入浴温度により異なるが、始めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してよい。
  - イ) 入浴中は、運動浴の場合は、別として一般的に安静を守る。
  - ウ) 入浴後は、体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。  
(湯ただれを起こし易い人は逆に浴後真水で体を洗うか、温泉成分を拭取るのが良い)
  - エ) 入浴後は、湯冷めに注意して一定の時間安静を守る。
  - オ) 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
    - イ 高度の動脈硬化
    - ロ 高血圧症
    - ハ 心臓病
  - カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意する。
  - キ) 食事の直前・直後の入浴は、避けることが望ましい。
  - ク) 飲酒しての入浴は、特に注意する。

### 4. 禁忌症状決定年月日

昭和60年1月30日 三重県

## 【磨洞温泉 涼風荘 湯処森乃泉「高虎の湯・お市の湯」温泉利用について】

#### ※注1) 当館では温泉を加温加水しております。

湯処森乃泉「高虎の湯」「お市の湯」の温泉は、同市久居地区内の榊原温泉口「白山温泉」より配湯を受けております。循環濾過装置(後述※注意2)を使用していることから、常時適温になるよう、温泉に熱交換による加温を行っております。  
また、お客様のお湯の使用量が配湯量を上回った場合、敷地内温泉貯水タンクより毎日補水。  
また洗浄用に敷地内地下300mから湧出する地下水を補給水として使用する構造となっております。  
地下水は現在20℃の水温であり、温泉法上の温泉(25℃以上)ではありませんが、定期的な衛生管理の元、使用しております。

#### ※注2) 当館では循環濾過装置を使用しております。

磨洞温泉涼風荘では循環濾過型の温泉利用を選択しております。  
湯船における湯垢・人脂・体毛などの「汚れ」を処理し、快適な入浴環境を守るために循環濾過は必要不可欠であると認識しております。秘湯などに見られるような小型の湯船であればある程、自然の循環は可能かと思いますが、数百名のお客様がご利用になる規模の施設では衛生管理を自然循環に任せるわけには参りません。  
清掃は毎日こまめに行っております。そのために、大浴場と貸切風呂の営業時間は午前7時より午後23時としております。お客様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、「良い風呂だった」と言われるために社員全員が安全性と清潔感を表現すべく真摯に取り組んでおります。

#### ※注3) 当館の浴槽には最低限の塩素投入をしております。

磨洞温泉涼風荘のお風呂には行政の指針に添う形で最低限の塩素を投入しております。  
これは「レジオネラ菌」「大腸菌」などの衛生対策のためです。  
いずれの菌も珍しいものではなく、日常に普通に存在するものですが、不特定多数のお客様がご利用になる施設では、これらの殺菌のため塩素等の使用が保険所より義務付けられております。ご安心してご利用くださいませ。